

# 公益財団法人 こども財団

— 令和4年度事業報告書 —

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

～ すべての子どものしあわせのために ～

～ 目 次 ～

I 事業概要	.....	1
II 事業報告		
公1 こども支援担当事業	.....	2
公2 虐待・思春期問題情報研修センター事業	.....	10
公3 放課後児童健全育成事業	.....	14
III 理事会・評議員会等の開催状況	.....	17

## I 事業概要

### 1 法人の目的

この法人は、こどもを核としたまちづくりを進める明石市において、次代の社会を担うすべてのこどもの健やかな成長を支援するための活動（以下「こども支援活動」という。）の振興に寄与することを目的とする。

### 2 事業

- (1) 地域におけるこども支援活動への市民等の参加を促すとともに、その資質の向上を図ることに関する事業
- (2) 地域におけるこども支援活動を行うものへの支援に関する事業
- (3) 地域におけるこども支援活動を行うものどうしの連携協力の促進に関する事業
- (4) 放課後等におけるこどもの健全な育成に関する事業
- (5) 虐待・思春期問題情報研修センター事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 3 事業構成

- (1) こども支援担当事業
- (2) 虐待・思春期問題情報研修センター事業
- (3) 放課後児童健全育成事業

## Ⅱ 事業報告

### 公1 こども支援担当事業

#### 1 こどもの居場所づくり事業

##### (1) 趣旨

明石市市内の全小学校区に開設されたこども食堂が、コロナ禍においても継続した運営がなされ、その活動が広がり、気づきの地域拠点として関係機関とつながっていくよう、こども食堂を運営する団体の特性に応じたきめ細やかな支援を行う（明石市からの委託事業）。

##### (2) 事業（内容、方法など）

###### ① 運営助成

【助成内容】 明石市市内でこども食堂を開設・運営する団体に対して、申請のあった運営費について、必要経費の一部を助成

《一般の場合》

	食事型	市販品型	テイクアウト・デリバリー型
運営費助成（開催1回につき）	2万円	1万円	3万円
特別助成（1年度につき）	5万円	3万円	5万円
衛生管理助成（受講1人につき）	8千円		
専門職連携助成（実施1回につき）	5千円		
年間上限額	130万円		

《飲食店等の場合》

	食事型	市販品型	テイクアウト・デリバリー型
運営費助成（開催1回につき）	1万円		1.5万円
特別助成（1年度につき）	2万円		
衛生管理助成（受講1人につき）	—		
専門職連携助成（実施1回につき）	5千円		
年間上限額	65万円		

【募集方法】 ホームページ等への掲載により公募、随時受付

【助成方法】 助成要領に基づき、有識者を含む審査委員が審査基準に則り、公正に審査した上で理事会に諮り、助成団体及び助成額を決定

###### 【実績】

交付団体数	交付金額
46団体	14,482,000円

② 開設・運営支援

《新規開設したこども食堂（4か所）》

小学校区	こども食堂の名称	運営団体	開催場所
貴崎	そら食堂	合同会社 Onestep	総合福祉センター 新館 2階
江井島	こども食堂しまっこ	江井島地区社会福祉 協議会	江井島小コミセン
魚住	金ヶ崎こども食堂	金ヶ崎ボランティア グループ	金ヶ崎文化センター
錦浦	中尾こども食堂 ～バリオ～	株式会社アバンサー ル	雅の里リハビリテー ションセンター

○活動が継続するための支援 ～つづける～

こども食堂の現場に足を運びながら、その団体の特性に応じたきめ細やかな支援を行った。また、気づきの地域拠点としての機能強化を図るとともに、こども食堂同士の連携を深めた。

- ・県内のこども食堂のネットワークづくりと交流を目的に、兵庫子ども食堂ネットワークと合同で開催した。

日 時：令和4年8月3日（水） 午後2時～午後4時

参加者：こども食堂関係者53名

内 容：東灘こどもカフェの中村保佑氏による講演「こどもと元気にコロナ禍  
こどものスタンプカード活動」  
情報交換「こども食堂での困りごと等」

○活動が広がるための支援 ～ひろがる～

地域に根付き開かれることで、活動が広がっていくよう支援を行った。また、その広がりが継続し理解が広まるよう、ホームページや広報紙等により広く周知した。

- ・まちづくり協議会や民生児童委員等とこども食堂をつなぐため、当法人が窓口となり支援した。
- ・財団ホームページや財団だより、こども食堂図鑑等を活用し、こども食堂の取組等を地域に広く周知した。
- ・こども食堂の開催チラシの作成や学校等への配布、教育委員会と連携した広報の取組を支援した。
- ・地域の高齢者や障害者等の誰もが参加し、地域みんなが集い支え合う“みんな食堂”の展開を支援した。

○関係機関とつながるための支援 ～つながる～

相談支援等の専門職との連携を促進し、子どもやその世帯の見守りや相談体制の充実を図った。

- ・心理士や社会福祉士等の専門職との連携を促進し、子どもやその世帯への専門的な見守り等を強化するため、専門職連携助成の活用を推進した。
- ・“気づきの地域拠点”として、こどもセンター等の関係機関と連携できるよう、こども食堂と情報共有を図った。

## 2 地域活動支援事業

### (1) 趣旨

児童健全育成、子育て支援に取り組む団体、こども夢文庫を運営する団体を支援することにより、地域で子育てを支援する基盤を形成するとともに、地域の子育て力の拡大、地域コミュニティの意識醸成を図る（明石市からの委託事業）。

### (2) 事業（内容、方法など）

#### ① 運営助成

<こども応援助成>

【助成内容】 児童健全育成や子育て支援活動を行うなどの団体に対して、申請のあった運営費について、必要経費の一部を助成

《助成対象となる活動》

児童健全育成活動	地域における児童虐待や青少年非行の防止、早期発見、早期対応に資する活動
子育て支援活動	地域における次代の親育成の視点からの活動、子育ての不安や負担感を軽減するための活動

《助成内容》

コース区分	団体要件	助成金額
チャレンジ	市内に在住する5名以上で構成された団体	1か所につき上限10万円
サポート		1か所につき上限5万円
地域学習支援トライ		1か所につき上限40万円
地域学習支援サポート		1か所につき上限20万円
未来のパパ・ママ	市内同一の中学校・高等学校に在籍する生徒・担当教諭で構成された団体	1か所につき上限4万円

【募集方法】 毎年1回、ホームページ等への掲載により公募

【助成方法】 助成要領に基づき、有識者を含む審査委員が審査基準に則り、公正に審査した上で理事会に諮り、助成団体及び助成額を決定

【実績】

コース区分	助成団体数	助成金額
チャレンジ	2	185,000円
サポート	18	813,000円
地域学習支援トライ	5	2,000,000円
地域学習支援サポート	4	800,000円
未来のパパ・ママ	3	120,000円
合計	32	3,918,000円

<こども夢文庫助成>

【助成内容】 明石市が指定するこども夢文庫を運営する団体に対して、申請のあった運営費について、必要経費の一部を助成

・運営助成額：1か所につき上限20万円

こども夢文庫（市内8か所）：

あさぎり、貴崎、西明石、大久保北、えいがしま、魚住、二見北、西二見

《新規開設したこども夢文庫》

こども夢文庫の名称	運営団体	開設場所
魚住こども夢文庫	魚住まちづくり協議会	魚住小コミセン

・開設助成額：180万円

【助成方法】 交付要領に基づき、理事会に諮り、助成団体及び助成額を決定

② 開設・運営支援

児童健全育成、子育て支援に取り組む団体等の現場に足を運びながら、その団体の特性に応じたきめ細やかな支援を行った。また、支援の質の向上を図るとともに、団体同士の連携を深めた。

○セミナーや交流会の開催

地域活動団体やこども夢文庫運営団体が継続した活動やその充実につなげていけるよう、研修会や交流会を開催した。

・「ボランティアとは何か」やボランティア活動の魅力等について理解を深めることで、自分たちの活動を見直す機会としていただくとともに、ボランティア活動を継続していくためのヒント等を知る講演と、こども夢文庫運営者同士の交流や情報交換を行う交流会を開催した。

日時：令和5年2月4日（土） 午後1時30分～午後4時

参加者：こども夢文庫運営者等36名

内容：社会福祉法人大阪ボランティア協会の早瀬昇理事長による講演「自分たちの活動を振り返る～ボランティアの原点と魅力～」

交流会「こうなったらいいな！これからの『こども夢文庫』」

○情報の提供・助言

地域活動団体等に対し必要な情報の提供や助言を行うことで、地域活動団体等の継続した活動やその充実を図ることができるように支援を行った。

- ・子育て応援企業が地域に無償等で貸し出ししている施設や備品の情報を提供した。
- ・社会福祉協議会やコミュニティ創造協会等、他の支援機関が実施するセミナー等の情報を提供した。
- ・緊急時の対応や防犯、感染症対策等について啓発するなど、安全で安心して活動できるよう助言した。
- ・特別な配慮を要する子どもへの対応や、地域活動団体の立ち上げ等の相談に対し、専門的見地からのアドバイス等を行った。

○広報の支援

地域活動団体等の活動が地域に根付き、活動が広がっていくよう支援した。また、

その広がりが継続し理解を深めていくよう、ホームページや広報紙等により広く周知した。

- ・財団ホームページや市あかし子育て応援アプリ等を活用し、地域活動団体やこども夢文庫運営団体の活動状況等をPRした。
- ・自治会や放課後児童クラブ、幼稚園と地域活動団体等とをマッチングし、チラシの配布依頼の際の支援を行った。

#### ○ボランティアの発掘とマッチング

地域活動団体等のスタッフの後継者や、ボランティアスタッフの不足を解消するため、地域や大学等を通じたボランティアの募集や、地域活動団体等とのマッチングを行った。

### 3 子育て応援企業連携事業

#### (1) 趣旨

明石市が認定する明石市市内のあかし子育て応援企業との連携により、地域全体で子どもを見守る機運を高め、子ども・子育て支援への取組を促進し、すべての子どもたちが健やかに育つまちづくりを進める（明石市からの委託事業）。

※「あかし子育て応援企業」とは、子育て支援に関する取組を積極的に行っている企業を「あかし子育て応援企業」として認定することにより、企業による子育て支援の取組を推進し、安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに育つまちづくりを進めることを目的とする。

#### (2) 事業（内容、方法など）

市民や関係機関に向けて、子育て応援企業の活動状況等の情報をホームページ等により、発信。また、子育て応援企業が有する強みを最大限に活かし、子ども・子育て支援につながる取組を実施した。

#### ○企業へのアプローチによる認定数の拡大

企業による子育て支援の取組のより一層の推進が図られるよう、企業への訪問等により、子育て応援企業の認定数の拡大に取り組んだ。

#### 《子育て応援企業の認定》

【目的】 子育て支援の取組を促進し、地域全体で子育てを応援するまちづくりを進める。

【認定基準】 3分野の取組（①結婚・妊娠・出産・育児への支援、②地域の子どもへの支援、③子育てしやすい職場環境づくり）について、ポイント数の合計が7ポイント（従業員100人以上の企業は10ポイント）以上該当

#### 【実績】

区分	新規に認定した企業数
結婚・妊娠・出産・育児への支援	2事業所
地域の子どもへの支援	4事業所
子育てしやすい職場環境づくり	8事業所
合計	14事業所



○子育て応援企業の取組の周知

ホームページや広報紙等の活用により、市民や関係機関に向けて、子育て応援企業の取組内容等について広く発信した。

○子育て応援企業と地域とのマッチング支援

子育て応援企業が無償等で貸し出ししている施設や出前講座を財団ホームページで発信するなど、子育て応援企業が実施する子ども・子育て支援活動と地域とのマッチングを図った。

○子育て応援企業との連携企画の実施

子ども・子育て世代向けに、子育て応援企業が有する強みを最大限に活かし、子ども・子育て支援につながる取組を実施した。

- ・第一生命保険株式会社とイオンモール株式会社、当法人とが連携し「夏休み子どもミニ作文コンクール」を開催した。
- ・地域みんなで子ども・子育てを応援する取組を市民に知っていただくため、「あかし子ども・子育て応援メッセ」を開催することを目的として、あかし子ども・子育て応援メッセ実行委員会を設置し、開催に向けて出展内容等を検討した。

#### 4 こどもの居場所設置・運営事業

##### (1) 趣旨

学校になじめない等の事由を抱えた子どもたちが、安心して学び、遊び、過ごし、健やかな成長ができるように、学習支援や相談支援等を実施し、子どもの自主性を尊重し、自己肯定感を育むことができる居場所を設置し、運営する（明石市からの委託事業）。

##### (2) 事業（内容、方法など）

学校になじめないなどの様々な悩みを抱える子どもが自己肯定感を取り戻し、安心して前向きに生きていくことを目的に、遊びや学習支援のほか、相談支援を実施した。また、その子どもや保護者が集い、お互いに悩みを共有できる場として、保護者のための集まりであるおやかフェを実施した。

##### (3) 委託内容

事業の運営に当たっては、公募型プロポーザル方式により選定した事業者による業務委託した。

##### (4) 運営等の概要

① あかしフリースペース☆トロッコの運営

【開所日時】 平日午前9時から午後5時まで

【開設場所】 天文町1丁目4-12（既存住宅を活用）

【対象者】 学校になじめないなどの様々な悩みを抱える、明石市に住居を有する6歳から18歳までの子ども

【定員】 30名程度

【利用者負担】 なし（教材等の実費負担あり）

【スタッフ】 現場責任者1名と担当スタッフ（活動・事務）6名

② おやカフェの実施

不登校の子どもの保護者が集い、お互いに悩みを共有できる場として実施する。

【開催】 毎月第2日曜

【対象者】 あかしフリースペース☆トロッコに登録する子どもの保護者と一般の主に不登校の子どもの保護者

【利用者負担】 なし

【登録者数】 30名

## 5 こどもの権利擁護事業

### (1) 趣旨

一時保護された子どもの権利を守るため、こどものための第三者委員会（明石市社会福祉審議会児童福祉専門分科会こどもの権利擁護部会の通称。児童福祉に詳しい弁護士や元裁判官、元児童相談所所長ら8名で構成。）の委員が、一時保護されたすべての子どもと速やかに面会し、子どもの声を聴き、必要に応じて明石こどもセンターへ意見を通知するなどを行う（明石市からの委託事業）。

### (2) 事業（内容、方法など）

明石市から委員会事務局運営業務の委託を受けて、委員と一時保護された子どもの面会調整や、子ども本人・保護者・こどもセンターの申出等による調査に関する調整、定例会の開催等にかかる事務を行った。なお、保護者からの相談や調査申出については、主に明石市から当法人に非常勤で派遣されたこどもセンター業務に関与しない弁護士職員が対応した。また、こどものための第三者委員は、当法人とは別に、市から直接委嘱を受けており、それぞれ役割分担をしながら制度運営を行った。

## 6 その他事業

### (1) 趣旨

積極的な広報活動や子育て支援に資する自主事業を実施する（明石市からの補助事業）。

### (2) 事業（内容、方法など）

#### ① 財団だよりの発行

当法人の取組を広く発信し、地域全体で子ども・子育てを応援する取組の推進を図るため、季刊誌“財団だより”を発行する。発行は年4回（5月・8月・12月・3月）で、地域ネットワークの充実を図るため、公共施設や学校、子育て応援企業・地域活動団体等に配布した。

#### ② 学生ボランティアとの協働

カフェスタイルの座談会形式（通称ボラカフェ）で、ボランティア活動に携わっている学生と、効果的なボランティアの募集方法や、学生が継続的にボランティア活動ができる方法等を考えるなど、協働で実践した。

- ・ボランティア活動の充実に向けた取組の可能性を探るため、「もっと気軽にボランティア活動に参加する方法」について学生ボランティア同士で語り合っていた。

日 時：令和5年1月14日（土） 午前10時～午前11時45分

場 所：西日本こども研修センターあかし

参加者：学生ボランティア4名

- ・子どもの豊かな心を育むことなどを目的として、明石高等学校と神戸芸術工科大学の学生ボランティアと連携し、こども食堂で子どもたちがアートに触れる機会を提供した。

- ・明石高等学校（コミックアート部）の生徒6名

日 時：令和4年11月19日（土） 午前10時30分～午後12時

場 所：中崎あいあいこども食堂（開催場所：大蔵会館）

内 容：生徒が用意した絵柄への塗り絵・4コマ漫画づくり

- ・神戸芸術工科大学（特殊造形部）の学生12名

日 時：令和4年11月26日（土） 午前11時15分～午後2時

場 所：明石小学校区こども食堂きらり☆（開催場所：明石小学校家庭科室・図書室）

内 容：学生が制作した画用紙を使ったお面作り

### ③ 「こども夢講座」の開催

子どもたちが明るく前向きに、将来に夢や希望を持つきっかけづくりとなるよう体験型の講座等を行う「こども夢講座」を開催した。

- ・夢に向かって挑戦することや失敗から学ぶことの大切さなどを学び、将来について考えるきっかけとするため、オリックス・バファローズの来田涼斗選手（明石商業高校卒）、乾絵美アマチュアスカウトからその貴重な体験や想いを聞く質問タイムと、来田涼斗選手とのキャッチボール等の野球体験等を実施しました。

日 時：令和5年1月27日（金） 午後6時～午後7時30分

場 所：明石市立明石商業高校体育館

参加者：小学生（3年生以上）ら23組

## 公2 虐待・思春期問題情報研修センター事業

### (1) 趣旨

子どもの権利を主体とする「子どもの権利条約」の理念を基本姿勢とし、全国の子ども虐待対応機関の指導的立場にある職員等を対象として、子どもの最善の利益を最優先する支援を行うための専門的知識・実践的支援技術の習得に資する高度専門的な研修を実施する。

### (2) 事業（内容、方法など）

各研修事業を企画運営するにあたり、学識経験者・有識者や児童虐待対応機関等から構成される企画評価委員会及び運営委員会により、専門的見地からの助言、最新の知見の提供や提言を基に研修を企画する。

#### ① 虐待対応研修

##### 【目的】

各現場のニーズを把握し、新たな知見や技術の普及を通して、子ども虐待及び思春期問題への支援の質の向上を図ることや、全国的なネットワーク構築に資することを目的とする。

##### 【対象者】

児童相談所・児童福祉施設・市区町村・保健機関・学校等全国の子ども虐待対応機関の指導的立場にある職員

##### 【実施方法】

虐待・思春期問題情報研修センター事業の一環として、厚生労働省が定める法定研修や子ども虐待対応機関職員へ課題解決及び意欲向上に資する研修、多職種多機関との連携・協働・組織づくり等の研修を、参集、オンライン、ライブ・オンデマンド形式により実施した。

##### 【実績】

NO	研修名	実施期間	定員	参加者	実施方法
1	子ども虐待対応研修担当者等養成研修	5月11日(水) ～13日(金)	60	54	参集
2	児童養護施設職員指導者研修	5月25日(水) ～27日(金)	60	36	参集
3	児童相談所児童心理司指導者研修	6月15日(水) ～17日(金)	60	59	参集
4	乳児院職員指導者研修	6月29日(水) ～7月1日(金)	60	30	参集 オンライン
5	児童相談所弁護士等専門研修	7月14日(木) ～15日(金)	40	24	参集
6	市区町村子ども家庭支援指導者研修	7月27日(水) ～29日(金)	60	49	参集
7	教育機関・児童福祉関係職員合同研修	8月16日(火)	200	237	オンライン

NO	研修名	実施期間	定員	参加者	実施方法
8	指導教育担当児童福祉司任用 前研修A<前期課程>法	9月1日(木) ～2日(金)	60	60	参集
9	こころのシリーズ 「虐待を受けた子どものこころの支援」	9月14日(水) ～15日(木)	200	198	オンライン
10	指導教育担当児童福祉司任用 前研修B<前期課程>法	9月29日(木) ～30日(金)	60	60	参集
11	指導教育担当児童福祉司任用 前研修C<前期課程>法	10月13日(木) ～14日(金)	60	39	参集
12	特別企画 「虐待の世代間伝達を理解する」	11月11日(金)	200	235	オンライン
13	子ども虐待対応母子保健関係 職員指導者研修	11月30日(水) ～12月2日(金)	60	50	参集
14	一時保護所指導者研修	12月14日(水) ～16日(金)	60	58	参集
15	健康障害シリーズ 「ネグレクトと健康障害」	1月19日(木) ～20日(金)	80	227	オンライン
16	指導教育担当児童福祉司任用 前研修A<後期課程>法	2月1日(水) ～3日(金)	60	58	オンライン
17	指導教育担当児童福祉司任用 前研修B<後期課程>法	2月15日(水) ～17日(金)	60	59	オンライン
18	指導教育担当児童福祉司任用 前研修C<後期課程>法	3月1日(水) ～3日(金)	60	38	オンライン
19	テーマ別研修 「子どもの権利」	3月16日(木)	200	234	オンライン
合計			1,700	1,805	

法：法定研修

② 子ども家庭総合支援拠点の設置等を支援するアドバイザー派遣

【目的】

子ども虐待の予防・防止や子どもと家庭の福祉に関する支援を担う全国の市区町村の体制強化を図るため、ソーシャルワークを中心とした子ども家庭総合支援拠点の設置等を支援することを目的とする。

【対象者】

子ども家庭総合支援拠点を設置検討している全国の市区町村

【実施方法】

有識者アドバイザーもしくは自治体アドバイザーを各市区町村へ派遣調整し、設置運営に対し助言及び支援を実施した。また、こども家庭センターやサポートプラン等法改正を視野に入れた、子ども家庭総合支援拠点の設置の意義や、人材の育成など組織体制づくりについて、市区町村子ども家庭支援体制強化研修を実施した。

【実績】

- ・自治体からの依頼によるアドバイザー派遣

	依頼件数				調整件数
	都道府県・ 政令・中核市	市	町	計	
北海道	2			2	2
宮城県	1			1	1
山形県	1			1	1
福島県	1		1	2	2
茨城県		1		1	1
埼玉県		1		1	1
千葉県		1		1	1
新潟県	1			1	1
山梨県	1			1	1
長野県	2			2	2
愛知県	2			2	2
奈良県	1			1	1
和歌山県	1			1	1
島根県	1			1	1
山口県	1			1	1
徳島県	1			1	1
大分県			1	1	1
合計	16	3	2	21	21

- ・都道府県説明会、市区町村相談会、有識者アドバイザー講演動画等配信

		参加自治体数	オンデマンド 配信視聴回数
都道府県説明会		30(43人)	59
市区町村説明会 (オンデマンドのみ)	第1部	—	536
	第2部	—	389
有識者アドバイザー講演動画 (オンデマンドのみ)		—	626

- ・市区町村子ども家庭支援体制強化研修

開催ブロック	共同開催自治体	実施期間	参加者
中国・四国ブロック	香川県	1月13日(金)	19
東海北陸ブロック	静岡県	1月18日(水)	33
関東甲信越ブロック (オンライン)	長野県	1月24日(火)	71
中国・四国ブロック	高知県	1月25日(水)	46
北海道・東北ブロック	北海道	2月21日(火)	122
	青森県	2月22日(水)	37
	岩手県	2月24日(金)	28

③ 児童相談所児童福祉司スーパーバイザーを育成する立場にある指導的職員へのブロック研修

【目的】

過去の国内外の虐待死亡事例等を貴重な教訓として、指導的職員に必要な知識や視点を強化し、支援者がケースでの見落とししやすいポイント、支援者自身の気づきを促進するチームマネジメント等を学ぶ。また、都道府県の枠を超えた同じ立場の者との意見交換及びネットワークの構築を図ることを目的とする。また、概ね3か月後にフォローアップアンケートを実施し、受講者の意識改革やスキルアップ等の成果について効果測定を図ることにより、今後の研修の質の向上を目指す。

【対象者】

全国の児童相談所の児童福祉司スーパーバイザーを育成する立場にある指導的職員

【実施方法】

全国の児童相談所を7ブロックに分け、その地域に出向いて研修を実施した。

【実績】

開催ブロック・開催地	実施期間	定員	児童相談所数	参加者
近畿ブロック (明石)	9月5日(月) ～6日(火)	40	32	28
関東甲信越ブロック① (高崎)	9月21日(水) ～22日(木)	40	72	19
関東甲信越ブロック② (東京)	10月31日(月) ～11月1日(火)	40		27
北海道・東北ブロック (仙台)	10月5日(水) ～6日(木)	40	31	23
中国・四国ブロック (岡山)	11月16日(水) ～17日(木)	40	31	20
九州ブロック (福岡)	12月8日(木) ～9日(金)	40	25	17
東海北陸ブロック (名古屋)	12月20日(火) ～21日(水)	40	38	18
計		280	229	152

※児童相談所数：支所を除く。

### 公3 放課後児童健全育成事業

#### 1 放課後児童クラブ運営事業

##### (1) 趣旨

市内全28小学校の敷地内に放課後児童クラブを設置し、保護者が就業等により昼間家庭にいない児童等を対象として、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を提供するとともに、様々な行事等を通して地域や異世代との交流を行うことにより、児童の心身の健全な育成を図る（明石市からの委託事業）。

##### (2) 事業（内容、方法など）

利用を希望する全児童を受け入れるための施設や支援員を確保するとともに、市をはじめ地域や関係機関と連携して育成内容の充実を図った。また、各児童クラブの安定的な運営を図るため、更なる支援員の確保を進めるとともに、支援員に対する研修の充実等により、質の向上を図った。

##### ① 放課後児童クラブの運営

○市広報紙やインターネットの求人サイトを活用し、支援員の確保を行った。

支援員数：369人（3月時点）

○アドバイザーを2名から1名増員し、支援員の育成を進めた。

○各種研修を実施し、支援員の質の向上を図った。

<新人研修>

##### ・第1回

日時：4月20日（水）午前9時30分～午前11時

受講者：43名

内容：みんなのしあわせのために～ひとごとからわがことへ～

講師：人権推進課 大西 修平氏

##### ・第2回

日時：10月13日（木）午前9時45分～午前11時15分

受講者：43名

内容：子どもにはすごい力がある～子どもの力を伸ばす関わりについて～

講師：指導係長 玉田 絹夫

<全体研修会>

##### ・第1回

日時：6月10日（金）午前9時45分～午前11時15分

受講者：298名

内容：LGBTQ+/SOGIE ってなんだろう？～自分らしく生きる～

講師：LGBT活動家 保育園コンサル コミュニティマネージャー 藤原 直氏

##### ・第2回

日時：10月28日（金）午前10時～11時30分

受講者：299名

内容：新型コロナウイルス感染症への対応と応急処置

講師：吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護学科 准教授 赤澤 真旗子氏



・第3回

日 時：11月29日（火）午前10時30分～12時

受講者：289名

内 容：「危機管理マニュアル」と「育成の手引」を読み返そう

～育成の原点に戻り、子どもが楽しく安心・安全な育成を目指す～

講 師：指導係長 玉田 絹夫

・第4回

日 時：2月15日（火）午前10時30分～12時

受講者：279名

内 容：遊びで育む子どもたちの力 ～ゲームや工作を通じて～

講 師：SHOSAPO NPO法人生涯学習サポート兵庫

伊藤 嘉範氏

<キャリアアップ研修>

日 時：12月15日（木）午前9時45分～午前11時15分

受講者：94名（常勤支援員対象）

内 容：代表常勤支援員と常勤支援員の仕事と役割及び意見交換会

講 師：アドバイザー 上野 洋子

指導係長 玉田 絹夫

<市民救命士講習>

・第1回

日 時：6月7日（火）～16日（木）の間で5日間

受講者：79名

・第2回

日 時：9月8日（木）・15日（木）

受講者：20名

○保護者ニーズを踏まえ、夏休み期間のみの入所に加え、今年度から冬休み期間のみの入所を全児童クラブで実施した。

夏休みのみ入所：496名 冬休みのみ入所：97名

○市民図書館の本と紙芝居を毎月全クラブに配達し、多くの本に触れる機会を設けた。

ひとクラブあたり：毎月本65冊、紙芝居5冊

② 地域や関係機関との連携事業

○児童の情報や行事の予定など情報交換をこまめに行い、学校との連携のもと、支援体制を充実させた。

○ハンドベル演奏や読み聞かせ、マジックショーなどボランティア団体の協力のもと育成内容の充実を図った。

○警察署や市との連携のもと、防犯教室や交通安全教室を実施し、防犯や交通ルールについての知識の向上を図った。

○明石高専の学生による理科実験授業やユニバーサルスポーツ体験、神戸学院大学の学生による人形劇など楽しみながら学生との交流を行った。

③ 発達障害等要支援児への対応

○発達障害等支援の必要な児童を学校や保護者と連携を密にしながら、加配の支援員を配置するなど児童クラブを利用する機会の確保に向けた適切な配慮や環境整備を行い、可能な限り広く受け入れた。また、3つの児童クラブでは、育成が困難な児童の育成方法等について発達支援センターの臨床発達心理士等の訪問によるアドバイスを受け、適切な支援を行った。

## 2 放課後児童支援員認定資格研修事業

### (1) 趣旨

一定の知識及び技能を有すると考えられる保育士又は社会福祉士の資格を有する者や教員免許を有する者等が、放課後児童クラブに従事する支援員として必要な知識及び技能を補完し、支援員としての役割及び育成支援の内容等の共通理解を得るため、職務を遂行する上で必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識してもらうことを目的として、講師・会場等の事前調整、研修当日の運営等、中核市の長が行う研修を市との役割分担のもと実施する（明石市からの委託事業）。

### (2) 事業（内容、方法など）

西日本こども研修センターあかしにおいて、放課後児童支援員になるために必要な16科目24時間（4日間）の研修を実施した。

日 程：10月2日（日）・16日（日）・23日（日）・29日（土）

受講者：38名（財団職員：29名、その他一般枠：市内9名）

### Ⅲ 理事会・評議員会等の開催状況

#### 1 理事会

区分	内容	
第1回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年4月22日(金)
	議題	1 一般財団法人あかしこども財団定款の一部を改正する定款の一部改正について 2 一般財団法人あかしこども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の一部改正について 3 評議員会の招集の決定について (1) 評議員会の決議の省略についての決定 (2) 評議員会の決議事項の決議省略 ① 一般財団法人あかしこども財団定款の一部を改正する定款の一部改正について ② 一般財団法人あかしこども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の一部改正について
第2回	日程	令和4年5月27日(金)
	議題	議案第1号 令和3年度 一般財団法人あかしこども財団事業報告について 議案第2号 令和3年度 一般財団法人あかしこども財団収支決算について 議案第3号 理事候補者の提案について 議案第4号 監事候補者の提案について 議案第5号 一般財団法人あかしこども財団令和4年度第2回評議員会の招集について
第3回	日程	令和4年6月15日(水)
	議題	議案第6号 理事長及び常務理事の選定について
第4回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年6月30日(木)
	議題	1 こども応援助成金交付申請に係る審査について
第5回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年8月31日(水)
	議題	1 こどもの居場所づくり事業助成金交付申請に係る審査について

区分	内容	
第6回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年9月1日(木)
	議題	1 一般財団法人あかしこども財団定款の一部改正について 2 一般財団法人あかしこども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 3 評議員会の招集の決定について (1) 評議員会の決議の省略についての決定 (2) 評議員会の決議事項の決議省略 ① 一般財団法人あかしこども財団定款の一部改正について ② 一般財団法人あかしこども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
第7回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年9月9日(金)
	議題	1 一般財団法人あかしこども財団こどもの居場所づくり事業助成金交付要領の一部改正について
第8回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和5年1月6日(金)
	議題	1 令和4年度一般財団法人あかしこども財団 収支決算について 2 令和4年度公益財団法人こども財団 事業計画について 3 令和4年度公益財団法人こども財団 収支予算について 4 公益財団法人こども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 5 評議員候補者について 6 こどもの居場所づくり事業助成金交付申請に係る審査について 7 こどもの居場所づくり事業助成金交付決定者に係る事業内容の変更について 8 評議員会の招集の決定について (1) 評議員会の決議の省略・報告の省略についての決定 (2) 評議員会の報告事項の報告省略 ① 令和4年度公益財団法人こども財団 事業計画について

		② 令和4年度公益財団法人こども財団 収支予算について (3) 評議員会の決議事項の決議省略 ① 令和4年度一般財団法人あかしこども財団 収支決算について ② 公益財団法人こども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について ③ 評議員の選任について
第9回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和5年2月17日(金)
	議題	1 公益財団法人こども財団理事会運営規則の一部改正について 2 こどもの居場所づくり事業助成金交付申請に係る審査について
第10回	日程	令和5年3月7日(火)
	議題	議案第7号 役員賠償責任保険契約の内容について 議案第8号 公益財団法人こども財団 令和5年度事業計画について 議案第9号 公益財団法人こども財団 令和5年度収支予算について
第11回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和5年3月31日(金)
	議題	1 こどもの居場所づくり事業助成金交付申請に係る審査について
第12回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和5年3月29日(水)
	議題	1 評議員会の招集の決定について (1) 評議員会の決議の省略の省略についての決定 (2) 評議員会の決議事項の決議省略 ① 理事の選任について

## 2 評議員会

区分	内容	
第1回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年4月28日(木)
	議題	1 一般財団法人あかしこども財団定款の一部を改正する定款の一部改正について 2 一般財団法人あかしこども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の

		一部改正について
第2回	日程	令和4年6月15日(水)
	議題	議案第1号 令和3年度 一般財団法人あかしこども財団収支決算について 議案第2号 評議員の選任について 議案第3号 理事の選任について 議案第4号 監事の選任について
第3回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和4年9月1日(木)
	議題	1 一般財団法人あかしこども財団定款の一部改正について 2 一般財団法人あかしこども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
第4回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和5年1月24日(火)
	議題	1 令和4年度一般財団法人あかしこども財団 収支決算について 2 公益財団法人こども財団役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 3 評議員の選任について 4 令和4年度公益財団法人こども財団 事業計画及び収支予算の報告の省略について
第5回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和5年3月31日(金)
	議題	1 理事の選任について

### 3 監査

区分	内容
日程	令和4年5月18日(水)
内容	一般財団法人あかしこども財団令和3年度会計及び業務監査